

お口のくち

健康情報室

お子さんが元気に走り回っていて、ガシヤン。顔を上げて瞬間に口から血が……。親御さんなら誰もが青ざめる瞬間ですが、実は子どもにとって歯は、腕や足よりもケガをしやすい場所。けがをした直後、子どもも大人も気が動転しがちですが、その後の数十分の対応が一生の笑顔を左右すると言っても過言ではありません。

もし歯が欠けたり、根っこからスポンと抜けてしまったらりしても、決して諦めないでください。抜けた歯を乾燥さ

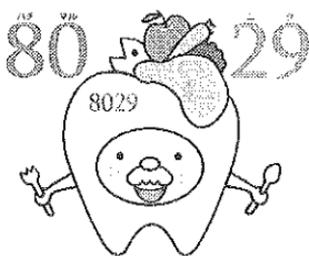
歯の外傷 急いで受診を

せず、すぐに牛乳に浸して30分以内に歯科医院へ駆け込めば、再び植え直して定着させられる可能性がぐんと高まります。汚れが気になっても水でゴシゴシ洗うのは厳禁です。歯の根にある大切な組織を守るため、サッと流す程度にとどめ、急いで受診してください。

「見た目が大丈夫そうだから」と放置するのも禁物です。歯の内部で神経がダメージを受けていると、数か月後に歯が黒ずんできたり、歯茎が腫れてきたりすることがあります。特に乳歯の場合、その真下で出番を待っている「永久歯」に影響が及び、次に生えてくる歯が変形したり変色したりするリスクもあります。

歯の外傷は、その場の手当てだけで終わりではありません。数年かけてじわじわと影響が出ることもあるため、永久歯への生え変わりまで定期的にチェックを続けることが大切です。「あの時、念のため診てもらってよかった」。そう思える一歩が、お子さんの将来の輝く白い歯を守るのです。(県歯科医師会)

健康長寿の合言葉！！



「8029 運動」PRキ
ャラクター もぐじい